

大空に翔ける



令和6年度日之影中学校だより



12月号
校長
藤田 雅元

2年生 職場学習 実施！

2年生（25名）は、11月12日（火）から13日（水）の2日間、職場学習を行いました。職場学習の目的は、①各職場の見学や実習を通して、働くことの意義や職業に対する意識を高め、望ましい「職業観」を養い、今後の中学校生活において、より一層意欲的に学習に取り組む態度を育てること。②職場でたくさんの人と接することを通して、人間関係の大切さや人として生きていく上での資質を高めること。③各職場で実際に働くことを通して、勤労の尊さや喜びを肌で感じ取らせ、保護者をはじめ身近な人々の仕事を理解する機会とすること。でした。この2日間で生徒の皆さんは、学校ではできない貴重な多くの学びがありました。この学びを、来年1月31日（金）に参観日で発表します。職場学習先は、一心園、西臼杵広域行政事務組合消防本部西臼杵消防署、西臼杵森林組合日之影支所、ニコニコ美容室、ファミリーマート日之影癒やしの森入口店、マロンハウス、日之影保育園、しいのみ保育園、農林振興課様でした。



この職場学習の受け入れに当たり、企画・事前準備、当日の対応等、きめ細かに御配慮いただきました9事業所の方々に
対し、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

NHKアナウンサーと考える防災教室 実施！

11月21日（木）に片山 智彦NHKアナウンサーが来校され、昨年に引き続き防災授業を行いました。

片山アナウンサーはNHKニュースウォッチ9アナウンサーとしてご活躍されております。また、NHK大河ドラマ「光る君へ」のエンディングナレーションもされております。日之影中生徒のために東京からお越しいただきました。地震や津波が発生したとき、どのような言葉で伝えるのかを分かりやすくお話していただきました。言葉で伝えるときの注意点として、①情報を正しく伝えること。②心を寄せ、安心感を与えるように伝えること。③関心のない人を振り向かせること。をおっしゃいました。いつ、どこで起こるのか全く分からない災害に対し、「人と人を繋ぐ言葉の大切さ」を学ぶ貴重な時間となりました。災害時には、「自分だけは助かるだろう。」という正常性バイアスがはたらき、命を落とすことさえあることも話されました。また、放課後には、下校便のバスに乗る生徒の皆さんを見送っていただきました。

